

平成 30 年度 シラバス（半期 15 回授業用）

科目名	ミクロ経済学 I	科目分類	■専門科目群（第 1 グループ） □総合科目群（第 2 グループ）
			経済学科 □必修 ■選択 学科 □必修 □選択
英文表記	Microeconomics I	開講年次	■ 1 年 □ 2 年 □ 3 年 □ 4 年
ふりがな	やまもと しゅん	開講期間	□前期■後期 □通年 □集中
担当者名	山本 俊	修得単位	2 単位
授業のテーマ	ミクロ経済学における消費理論及び市場の理論を中心に学習し、発展的な学習に必要な基盤を養成する。経済学的な合理性を理解し、経済学の視点を学ぶ。		
授業概要	ミクロ経済学 I では、消費理論を重点的に学習する。表面的理解だけでなく、諸理論の導出についても、丁寧に解説することで、到達水準を低下させないように心がける。		
到達目標	この授業では、ミクロ経済理論の学習を通じて「考える力」の向上を目指す。さらに、期末試験では、公務員の専門試験問題も出題するなど、基本的な受験力の向上も目指す。		
授業時間外の学習	定期的に確認問題を配布するので、解答した後に提出して欲しい。		
履修条件	入門経済学やマクロ経済学 I を履修済み、または同時に履修していることが望ましい。		
授業計画	講義資料と教科書を併用して授業を進める。		
第 1 回	テーマ：ガイダンス ミクロ経済学の全体像		
第 2 回	テーマ：消費理論① 選択と予算制約。「予算で買える物の組み合わせを図示しよう」		
第 3 回	テーマ：消費理論② 選択と予算制約。「価格が変化すれば、予算の購買力も変化する？」		
第 4 回	テーマ：消費理論③ 消費者選好の諸仮定。「柿より梨が好きで、梨よりも苺が好き。でも苺より柿が好き？」		
第 5 回	テーマ：消費理論④ 消費者選好の諸仮定。「ビールだけ、焼き鳥だけでは満足できない。一緒に食べたい」		
第 6 回	テーマ：消費理論⑤ 無差別曲線の導出。「あなたのビールと私の焼き鳥 3 本を交換して下さい」		
第 7 回	テーマ：消費理論⑥ 限界代替率とその逓減。「ビールと焼き鳥の交換を続けると、その比率はどう変化するのか？」		
第 8 回	テーマ：消費理論⑦ 無差別曲線と効用関数。「無差別曲線は等高線！！」		
第 9 回	テーマ：消費理論⑧ 限界効用逓減の法則。「ビールは最初の一口が最も美味しい」		
第 10 回	テーマ：消費理論⑨ 最適消費ベクトルの満たすべき条件。「予算線と無差別曲線の接点が意味すること」		
第 11 回	テーマ：消費理論⑩ 加重限界効用均等の原則と需要関数。「何を買い足し、何を諦めるか？」		
第 12 回	テーマ：消費理論⑪ 代替効果と所得効果。「価格が変化すると最適消費ベクトルはどう変化するのか？」		
第 13 回	テーマ：消費理論⑫ 負の所得効果とギッフェン財。「価格が上がると、需要は増える？それは間違いか？」		
第 14 回	テーマ：市場と需要① 需要関数の詳しい説明。需要の決定要因は価格だけか？所得、好み、流行は無関係か？		
第 15 回	テーマ：市場と需要② 需要の価格弾力性。「売上増加には、値上げか？それとも値下げか？」		
第 16 回	定期試験		
テキスト	井堀利宏『入門ミクロ経済学（第 2 版）』新世社、2010 年		
参考文献・資料	ロバート・ドーフマン『価格の理論』東洋経済、1965 年（考え方が詳しい）		
成績評価の方法	期末試験 60%、課題 30%、コメントシート 10%の合計を基に評価する。 秀:90%以上、優:80%以上、良:70%以上、可:60%以上、不可:60%未満 確認問題を配布する。受講者は自らの理解度を確認するためにも必ず解答すること。 試験については努力が報われるような出題を心がける。		
オフィスアワー	月・水・金曜日の 5 限をオフィスアワーとする。ただし、研究室に在室中は原則として質問に応じる。		
学生へのメッセージ	ミクロ経済学はマクロ経済学とともに、経済学の基盤を形成している。ミクロ経済学を学ぶことで、我々の合理性を再認識し、自らの意思決定を見つめ直して欲しい。		

